

わくわく！



令和7年1月20日
中野区立緑野小学校
校長 太巻 美青
緑野小HP



新春落語教室

1月14日（火）、新春落語教室を実施いたしました。お越しいただいたのは、昨年度に引き続き落語家の真打 立川 談修さんです。4～6年生と1～3年生の2部制に分けて行いました。落語教室では、初めに落語についてお話をしてくださいました。落語は落語家さんお一人で演じ、使う道具は扇子と手ぬぐいのみです。ですので、語り手の「表現力」と聞き手の

「想像力」が必要になります。ですが、落語家さんの

巧みな語り口を聞いていると、自然と様々な登場人物の人となりや、場面の様子が目に浮かんできます。今回演じてくださった演目は、『長短』です。気の長い男と気の短い男が出てきますが、二人は仲良しです。その二人の掛け合いの面白さを味わいました。最後に、各回一人代表として舞台上がり、世界一短い落語を教わって実演しました。「雨が漏るよ」「やーねー」という、3秒で終わる落語です。急遽舞台上がることになった子どもたちでしたが、なかなか堂々と声色豊かに演じました。「笑う門には福来る」と言います。お正月に日本の伝統文化に触れながら、皆で「初笑い」のいい時間を過ごすことができました。立川さん、どうもありがとうございました。



人権の空

東京都教育委員会の人権尊重教育推進校の取組の一端として、授業だけでなく掲示物も工夫しています。今、廊下や階段の壁面に、「人権の空」というコーナーを設けています。心が温くなる「あったか言葉」や人権標語など、学年に応じて掲示しています。日頃目に入る環境の中にも、「自分も人も大切に」教育環境を作っていきたいと思えます。ご来校の際に、ぜひご覧ください。



学級閉鎖

1月14日（火）の午後から16日（木）まで、4年2組・3組、5年3組の3つの学級が学級閉鎖となりました。この日はインフルエンザを始め、発熱等の症状で多数の欠席がありました。閉鎖の間、一日2時間ほどのオンライン授業を実施いたしました。学級閉鎖の趣旨は学級全体で体力回復を図ることですので、体調に支障のない児童のみ参加します。また、内容は授業を進めるのではなく、これまでの復習を行います。体調に支障がない児童の生活リズムを整えることや、健康観察を行うこともねらいですので、朝の会と帰りの会も行っています。3学級のオンライン授業の様子を覗いてみますと、それぞれ様々なことに取り組んでいました。オンラインでも、顔が見えるのは嬉しいことです。ですがやっぱり、元気に登校してきてくれるのが一番嬉しいです。



【画面に向かって話しかける森先生・高橋先生】



【画面に向かって踊り続ける松本先生】

持久走

朝の時間に、持久走の練習が始まりました。音楽が鳴っている間、校庭を周回して走ります。1～3年生と、4～6年生とでコースが分かれています。緑野小は児童数535名と大人数ですので、いっぺんに校庭を走るのは危険です。ですので、半数に分けて交代で走っています。そのような工夫は行っていますが、広々とした校庭ですので、子どもたちは思い切り走ることができます。出番を待つ間は、声援を送り合います。

子どもたちは事前にマラソンカードを配られていますので、何周走ったかを記録しています。2月8日（土）の学校公開日には持久走大会を控えていますので、ここまで練習を積み重ねていきます。寒くてなかなか外に出たがらない子どももいるのですが、しっかり走って体力づくりをしてほしいと思います。

